

2024年3月期 決算説明資料

リスクモンスター株式会社

証券コード3768

1. 2024年3月期 重点施策・取り組み (P.2)	15. リスクモンスターグループのビジネスモデル (P.21)
2. 決算サマリー (P.3)	16. DX(デジタルトランスフォーメーション)への取り組み (P.22)
3. 業績推移(四半期) (P.4)	17. 自己株式の取得 (P.23)
4. ビジネス分類別 業績 (P.5)	18. 株主のための施策 ① (P.24)
(1) 法人会員向けビジネス 業績 (P.6)	19. 株主のための施策 ② (P.25)
(1) 法人会員向けビジネス ①与信管理サービス 業績 (P.7)	20. 株主のための施策 ③ (P.26)
(1) 法人会員向けビジネス ②ビジネスポータルサイト 業績 (P.8)	IRIに関するお問合せ (P.27)
(1) 法人会員向けビジネス ③教育関連 業績 (P.9)	TOPICS
(2) その他ビジネス ④BPOサービスを含むその他ビジネス 業績 (P.10)	伊藤忠グループのGardiaと提携し債権保証サービスを拡大 (P.29)
5. 会員数推移(四半期) (P.11)	リスモングループのサービスがIT導入補助金2023に認定 (P.30)
6. 連結貸借対照表 (P.12)	ChatGPTに関連する与信管理サービスを続々と提供開始 (P.31)
7. 連結キャッシュ・フロー (P.13)	名刺管理アプリ『SmartVisca』において、データ提供を開始 (P.32)
8. 2025年3月期 業績予想 (P.14)	リスモングループで中国での与信管理をサポート (P.33)
9. 今後の見通し (P.15)	与信判断ツール「e-与信ナビ」に事業PRコメントの掲載を開始 (P.34)
10. RM財務格付による財務分析 ① (P.16)	リスクモンスターチャイナが認証取得 セキュリティの安全性を保証 (P.35)
11. RM財務格付による財務分析 ② (P.17)	リスモン独自の与信指標「RM格付」の精度向上！ (P.36)
12. 企業理念と長期ビジョン (P.18)	「リスモンAI与信管理PDF」がパワーアップ中！ (P.37)
13. 『第8次中期経営計画(2024～2025年度)』全体的な基本方針 (P.19)	「e-与信ナビ」に商業登記簿取得機能を追加 (P.38)
14. 『第8次中期経営計画(2024～2025年度)』事業別の基本方針 (P.20)	「e-与信ナビ」提供データを拡充し、25%DOWNの料金改定を公表 (P.39)

1Q

- ▶伊藤忠グループのGardiaと提携し債権保証サービスを拡大(5月)
- ▶「J-MOTTOサービス」がIT導入補助金2023に認定(5月)
- ▶スマホアプリブラウザ版「J-MOTTOグループウェア」を提供開始(5月)
- ▶J-MOTTO会員向け優待としてエヌアイデイのサーバ運用監視サービス「MesoblueMSP」を提供開始(6月)
- ▶倒産リスクを判別する格付ロジック改定～財務分析・周辺企業分析を強化し、格付精度をさらに向上～(6月)
- ▶「RM格付」の倒産判別力を91.8%に引き上げ～500万社超の企業情報ビッグデータとAI技術を活用して精度向上～(6月)
- ▶eラーニング 提供開始したシリーズ、コース
 - ・「要点がわかる！社会人基礎力」シリーズ3コース
 - ・「心と身体を守る健康マネジメント～健康経営®の実現に向けて～」
 - ・「spring入門」、「Python基礎」シリーズなど15コース

2Q

- ▶「倒産増加対策キャンペーン」実施～高精度の倒産判別力と見舞金で、与信管理を支援～(7月)
- ▶「決算書分析システム」がIT導入補助金2023に認定(7月)
- ▶Salesforceの名刺管理アプリ「SmartVisca」にて企業情報・RM格付・反社チェック情報の提供開始(9月)
- ▶取引先モニタリング機能を拡充し、「商業登記簿PDF」を提供開始(9月)
- ▶eラーニング 提供開始したシリーズ、コース
 - ・「心理交渉術を活用したチームビルディング」、「IT企業向け～顧客リレーションシップマネジメントの重要性～」、「敬語・言葉づかい徹底マスター講座」など、マネジメントや業務に役立つビジネススキルのほか、コミュニケーションスキルの向上に役立つユニークなコンテンツ135コース
 - ・「要点がわかる！キャリアデザイン」2コース
 - ・「基礎から学ぶハラスメント」シリーズ4コース
 - ・「Microsoft Office 2019シリーズ」9コース
 - ・研修サービス『サイバックスUniv.』でeラーニング135コースを9月26日より追加提供開始！

3Q

- ▶中国企業信用調査レポート「RM中国企業情報ナビ」一般販売開始(10月)
- ▶与信判断ツール「e-与信ナビ」に事業PRコメントの掲載を開始(11月)
- ▶中国企業信用調査レポート「RM中国簡易情報ナビ」、納期短縮し即日提供を開始(12月)
- ▶与信管理のリスクモンスター、倒産リスクを判別する格付ロジックを改定(12月)
- ▶eラーニング 提供開始したシリーズ、コース
 - ・「新時代の新人育成法セミナー」
 - ・SBI大学院大学の「MBA独習」シリーズ3コースをサイバックスUniv.に搭載し、12月19日より提供開始
 - ・「もう一度学びたいミクロ経済学／マクロ経済学」シリーズなど12月19日より提供
 - ・「情報セキュリティ・コンプライアンス」に関するeラーニングに＜事例編＞を追加！
 - ・eラーニング「セミナー講師動画シリーズ」20コースを追加！
 - ・「社会人になったあなたに」シリーズ 2コース提供開始
 - ・「営業販売心理」・「メンタルダウンを見逃さない睡眠講座」提供開始

4Q

- ▶「リスモンAIと信管理PDF」で取引企業評価の効率化を可能にする与信管理支援レポート、AI技術を利用したフォーマットアップデートを実施～(1月)
- ▶新刊「業種別審査ノートVol. 3」を発行(2月)
- ▶与信判断ツール「e-与信ナビ」に商業登記簿取得機能を追加(2月)
- ▶リスクモンスターの与信判断ツール「e-与信ナビ」、提供データを拡充し、25%DOWNの料金改定を公表
- ▶eラーニング 提供開始したシリーズ、コース
 - ・メディアリテラシーから始まる人材育成をオンデマンド配信
 - ・「中堅社員の教養」、「ビジネスを後押しする雑談の極意」など177コース提供開始
 - ・「基礎から学ぶメディアリテラシー」シリーズ提供開始
 - ・「判例から読み解くパワハラにならない指導法」「人事総務が気をつけるべきハラスメント対策」提供開始
 - ・「業務コントロール」、「メンタルコントロール」に役立つ！「ジョブ・クラフティング」、「職場で実践！ストレスコーピング」提供開始
 - ・「ビジネス英会話」を学ぶeラーニング6コースを3月26日より提供開始
 - ・「個人情報保護法入門講座」2コース提供開始

リリース

リスモン調べ

業界レポート

中計

調査結果・与信コラム 発表

- ▶「就職したい企業・業種ランキング」(4月)
 - ▶「お子さん／お孫さんに勤めてほしい企業」(5月)
 - ▶「この企業に勤める人と結婚したいランキング」(6月)
- ### リスモン調べ動画
- ▶「就職したい企業・業種ランキング」(4月)
 - ▶「お子さん／お孫さんに勤めてほしい企業ランキング」(5月)
 - ▶「この企業に勤める人と結婚したいランキング」(6月)

調査結果・与信コラム 発表

- ▶「格付ロジック改定によるRM格付変動の影響」(7月)

リスモン調べ動画

- ▶「隣の芝生(企業)は青い」(7月)
- ▶「対話型AI(ChatGPT)の使用実態」(8月)
- ▶「金持ち企業ランキング」(9月)

調査結果・与信コラム 発表

- ▶「中国不動産 危ない企業ランキング」(11月)

リスモン調べ動画

- ▶「借金王ランキング」(10月)
- ▶「大学1,2年生が就職したいと思う企業・業種ランキング」(11月)
- ▶「企業の取引リスクに対する意識」(12月)

調査結果・与信コラム 発表

- ▶「格付ロジック改定によるRM格付変動の影響」(1月)
- ▶「新型コロナウイルス流行前後における中国進出日系企業の新設拠点数ランキング」(3月)

リスモン調べ動画

- ▶「通勤時間の仕事活用実態」(1月)
- ▶「若手社員の仕事・会社に対する満足度」(2月)
- ▶「仕事・会社に対する満足度」(3月)

- ▶「水運業」(4月)
- ▶「建築材料、鉱物・金属材料等卸売業」(5月)
- ▶「プラスチック製品製造業」(6月)

- ▶「ゴム製品製造業」(7月)
- ▶「インターネット附属サービス業」(8月)
- ▶「倉庫業」(9月)

- ▶「運輸に付帯するサービス業」(10月)
- ▶「通信業」(11月)
- ▶「繊維業」(12月)

- ▶「窯業・土石製品製造業」(1月)
- ▶「印刷・関連業」(2月)

- ▶「AI等を活用し、自社保有データの分析推進によるサービス開発と業務効率化」
- ▶「クライアントへのDX化支援サービスの展開」
- ▶「デジタルプラットフォーム活用による業務効率化とテレワーク推進」

- ▶500万社の企業情報データベースをChatGPTプラグインで提供開始～ChatGPTとの会話形式で正確・最新の企業情報を取得可能に～
- ▶ChatGPT技術を利用した会員企業向け無料コンテンツ、与信管理アドバイザー「教えてAIと信管理士」提供開始
- ▶「e-与信ナビ」に『AI要約コメント (by ChatGPT)』を追加リリース
- ▶中国企業信用調査レポート「RM中国企業情報ナビ」が充実、ChatGPTの技術を利用した「情報サマリー」コメントを追加～リスモングループだから提供できる高品質なレポート～

	2023年3月期	2024年3月期	増 減	前期比
売上高	3,744,813 千円	3,666,482 千円	△78,331 千円	97.9 %
営業利益	565,083 千円	300,992 千円	△264,090 千円	53.3 %
経常利益	552,548 千円	290,616 千円	△261,932 千円	52.6 %
親会社株主に帰属する 当期純利益	360,374 千円	160,935 千円	△199,439 千円	44.7 %
1株当たり当期純利益(EPS)	47.60 円	21.48 円	△26.12 円	45.1 %
会員数(注)	13,822 ID	14,007 ID	185 ID	101.3 %
自己資本当期純利益率(ROE)	6.2 %	2.7 %	△3.5 ポイント	—

(注) 各サービスに重複登録している会員を含む

◆ 売上高

BPOサービス事業、グループの海外展開(中国)等を含むその他サービスが順調であったものの、法人会員向けビジネスの売上高が減少したこと等から、前期を下回りました。

◆ 利益

BPOサービス事業の大型スポット案件が赤字となったこと、独自データベース及びサービスシステム増強のための投資を継続していること、サービス提供強化のための人件費等が増加したこと等により、前期を下回りました。

◆ 会員数

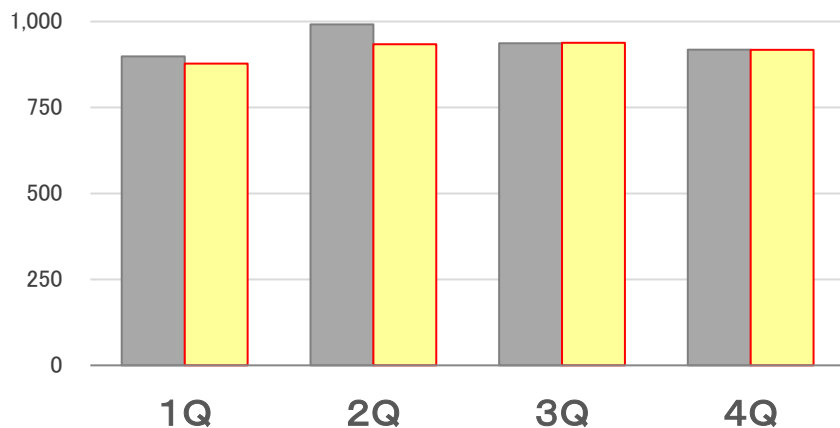
与信管理サービス事業の会員数が増加したため、全体では185会員増加し、14,007会員となりました。

(単位：千円)

2024年3月期	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	877,517	933,644	938,021	917,298
営業利益	51,678	99,236	77,135	72,942
2023年3月期	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	898,424	991,648	936,530	918,209
営業利益	131,133	190,442	132,606	110,901

売上高

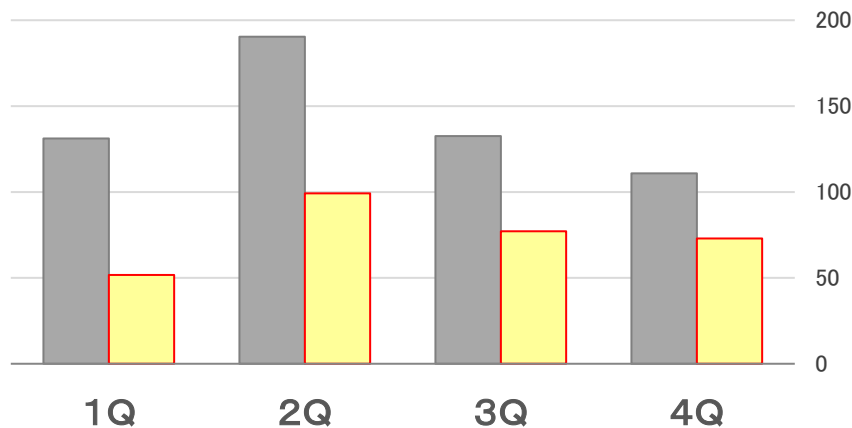
(単位：百万円)



■ 2023年3月期 □ 2024年3月期

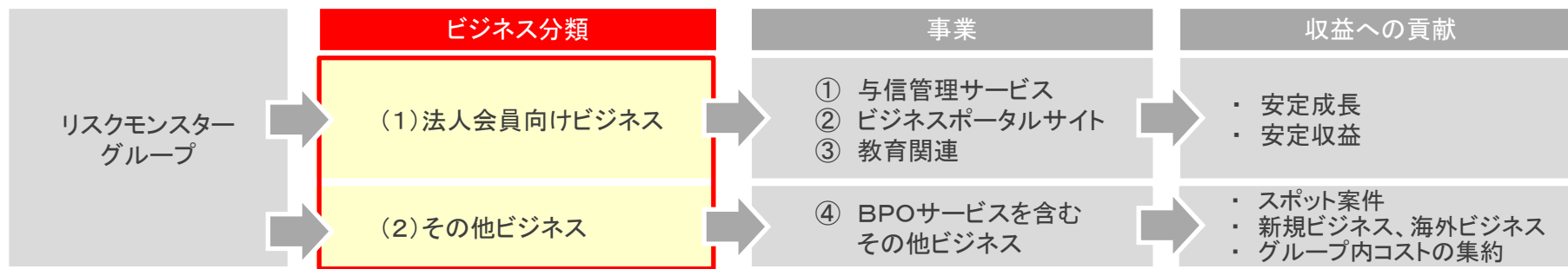
営業利益

(単位：百万円)



■ 2023年3月期 □ 2024年3月期

リスクモンスターグループ ビジネスモデル

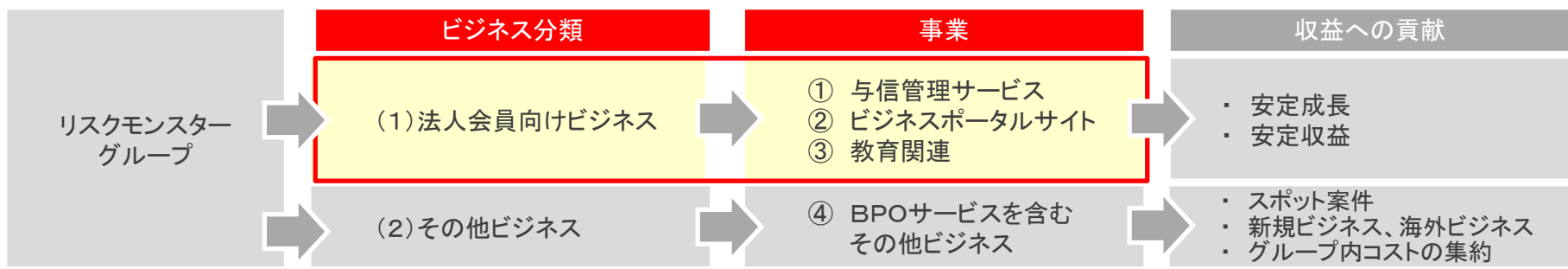


(単位 : 千円)

	2023年3月期	2024年3月期	増減額	前期比
(1) 法人会員向けビジネス	2,958,208	2,821,137	△137,071	95.4%
(2) その他ビジネス	1,199,285	1,316,024	116,738	109.7%
売上高 計	4,157,493	4,137,161	△20,332	99.5%
(1) 法人会員向けビジネス	667,624	542,589	△125,034	81.3%
(2) その他ビジネス	64,114	16,104	△48,010	25.1%
利益 計	731,738	558,693	△173,045	76.4%

(注) セグメント別の売上高はサービス間取引消去前の売上高で記載

リスクモンスターグループ ビジネスモデル



(単位：千円)

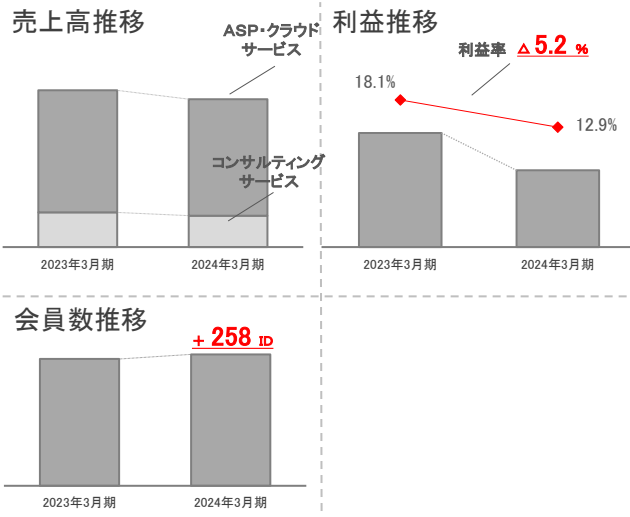
	2023年3月期	2024年3月期	増減額	前期比
①与信管理サービス	2,102,864	1,983,944	△118,920	94.3%
②ビジネスポータルサイト	614,901	604,891	△10,010	98.4%
③教育関連	240,442	232,301	△8,140	96.6%
法人会員向けビジネス売上高計	2,958,208	2,821,137	△137,071	95.4%
①与信管理サービス	381,364	256,395	△124,968	67.2%
②ビジネスポータルサイト	241,298	230,489	△10,809	95.5%
③教育関連	44,960	55,704	10,743	123.9%
法人会員向けビジネス利益計	667,624	542,589	△125,034	81.3%

会員数 (ID)	13,377	13,536	159	101.2%
-----------------	--------	--------	-----	--------

(単位 : 千円)

	2023年3月期	2024年3月期	増減額	前期比
ASP・クラウドサービス	1,637,183	1,563,165	△74,018	95.5%
コンサルティングサービス	465,681	420,779	△44,901	90.4%
売上高 計	2,102,864	1,983,944	△118,920	94.3%
利益	381,364	256,395	△124,968	67.2%
利益率	18.1%	12.9%	△5.2ポイント	—
会員数 (ID) (注)	7,240	7,498	258	103.6%

(注) サービス相互連携を行う提携会員を含む



◆ 売上高

会員数は増加し、また、反社チェックヒートマップの利用の伸長、クライアントの取引先の反社チェックや企業情報に関するコンサルティングサービスが堅調だったものの、前期に増加した退会会員分の売上高を補うまでには至らず、前期を下回りました。

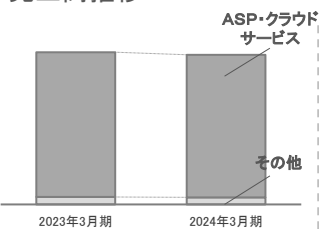
◆ 利益

売上高が減少したこと、独自データベースの充実を図るため企業情報取得の強化を継続しており、それに係る原価が増加していること、また、サービスシステム増強費用、また、サービス提供強化のための人件費等が増加したため、前期を下回りました。

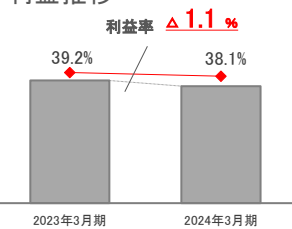
(単位 : 千円)

	2023年3月期	2024年3月期	増減額	前期比
ASP・クラウドサービス	579,836	571,337	△8,498	98.5%
その他	35,065	33,554	△1,511	95.7%
売上高 計	614,901	604,891	△10,010	98.4%
利益	241,298	230,489	△10,809	95.5%
利益率	39.2%	38.1%	△1.1ポイント	—
会員数 (ID)	3,115	3,074	△41	98.7%
ユーザー数	145,315	144,995	△320	99.8%

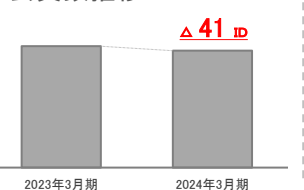
売上高推移



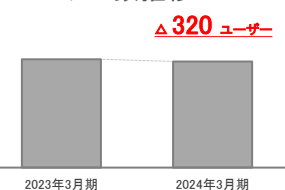
利益推移



会員数推移



ユーザー数推移



◆ 売上高

会員数、ユーザー数ともに微減となり、また、ディスク容量の利用が減少したため、売上高は前期を下回りました。

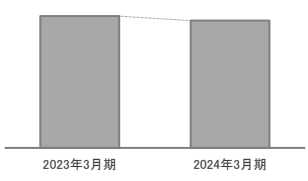
◆ 利益

サービス増強費用の増加及び売上高の減少のため、前期を下回りました。

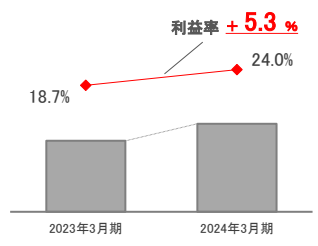
(単位 : 千円)

	2023年3月期	2024年3月期	増減額	前期比
売上高 計	240,442	232,301	△8,140	96.6%
利益	44,960	55,704	10,743	123.9%
利益率	18.7%	24.0%	5.3ポイント	—
会員数(ID)	3,022	2,964	△58	98.1%

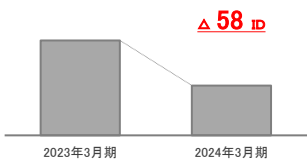
売上高推移



利益推移



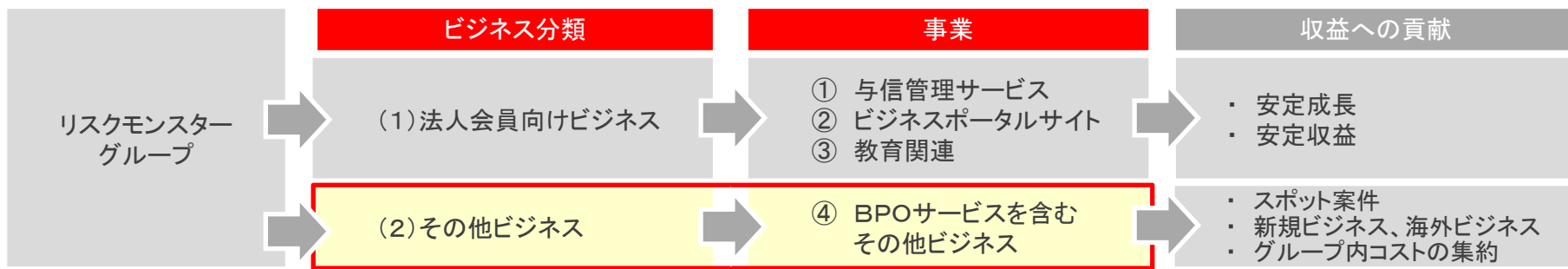
会員数推移



◆ **売上高**
 前期に一部の代理店向けのサービス提供が終了したことに伴い、売上高は前期を下回りました。

◆ **利益**
 前期はサービス充実のための提供コンテンツ増加などに伴い固定費が増加しましたが、当期は抑えられており、前期を上回りました。

リスクモンスターグループ ビジネスモデル

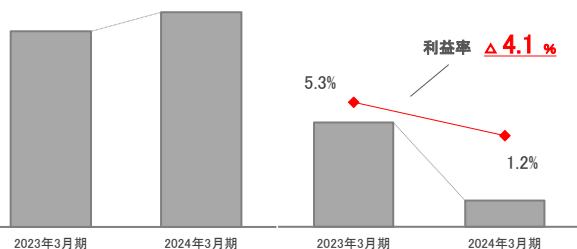


(単位：千円)

	2023年3月期	2024年3月期	増減額	前期比
その他ビジネス売上高計	1,199,285	1,316,024	116,738	109.7%
その他ビジネス利益計	64,114	16,104	△48,010	25.1%
利益率	5.3%	1.2%	△4.1ポイント	—

売上高推移

利益推移



◆ 売上高

BPOサービス事業は、スポットの大型案件を受注したこと、与信管理サービス事業の独自データベース増強等グループのコスト削減に貢献する業務が増加したことから、売上高は前期を上回りました。

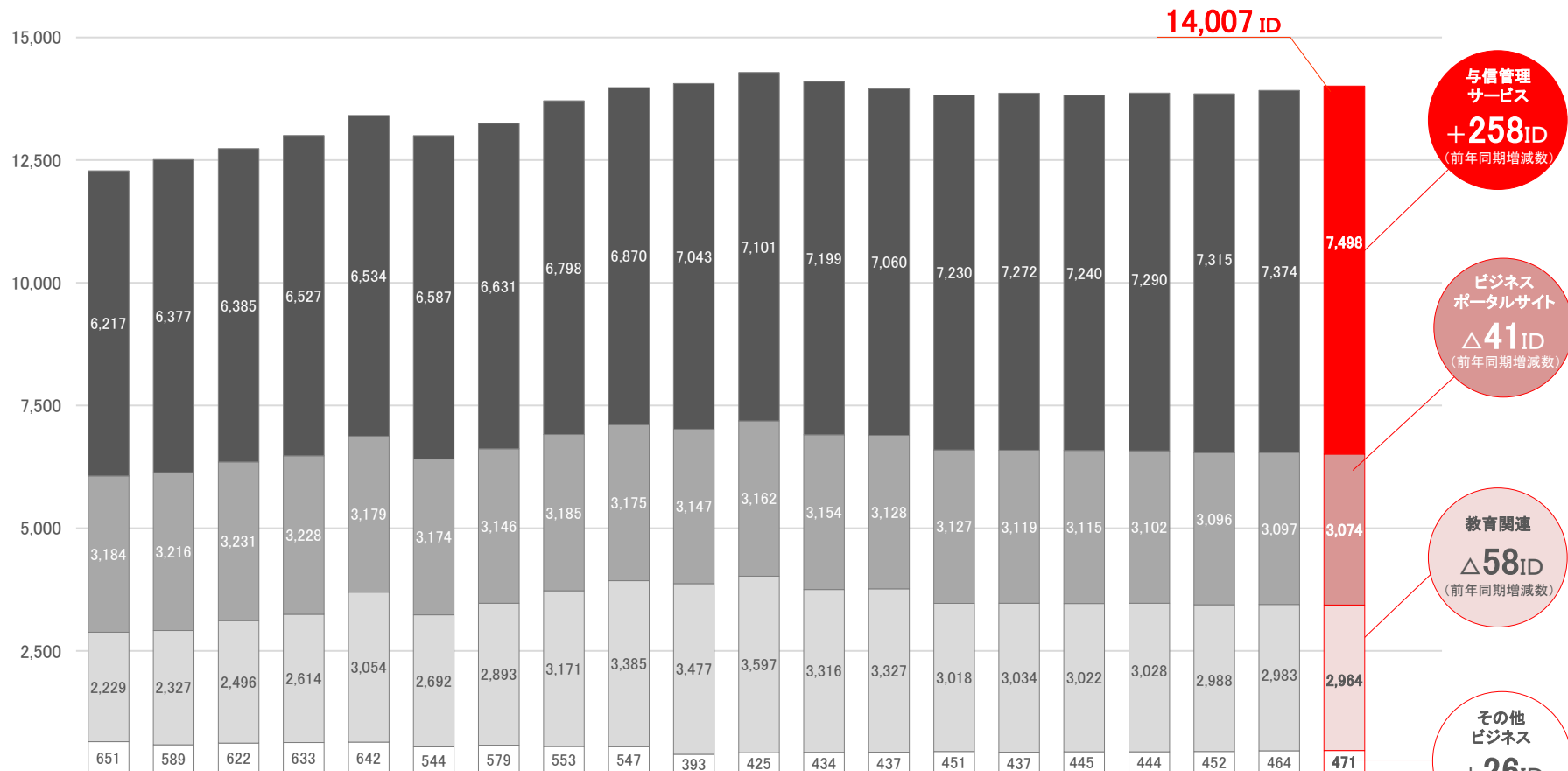
グループの海外展開(中国)を事業とする利墨(上海)商務信息咨询有限公司(リスクモンスターチャイナ)は、中国における信用調査レポート及びグループのコスト削減を担うオフショア開発が順調に推移し、売上高は前期を大きく上回りました。

◆ 利益

リスクモンスターチャイナの事業は、前期を上回ったものの、BPOサービス事業の大型スポット案件が赤字となったことから、その他ビジネス全体の利益は前期を下回りました。

5. 会員数推移(四半期)

(単位 : ID)



会員数計 (注)	2020年3月期				2021年3月期				2022年3月期				2023年3月期				2024年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
	12,281	12,509	12,734	13,002	13,409	12,997	13,249	13,707	13,977	14,060	14,285	14,103	13,952	13,826	13,862	13,822	13,864	13,851	13,918	14,007

(注) 各サービスに重複登録している会員を含む

(単位 : 千円)

	2023年3月期	2024年3月期	増減額	前期比
流動資産	2,575,945	2,295,893	△280,051	89.1%
固定資産	4,101,158	4,490,111	388,953	109.5%
資産合計	6,677,103	6,786,005	108,901	101.6%
流動負債	527,343	433,092	△94,250	82.1%
固定負債	304,226	330,600	26,374	108.7%
負債合計	831,569	763,693	△67,876	91.8%
純資産	5,845,533	6,022,311	176,778	103.0%
負債・純資産合計	6,677,103	6,786,005	108,901	101.6%

自己資本比率	86.7%	87.6%	—	—
1株当たり純資産(BPS)	774.13円	808.06円	33.93円	104.4%

自己資本比率は87.6%と高水準を維持しております。

(単位 : 千円)

	2023年3月期	2024年3月期	増減額	前期比
営業活動	916,943	812,431	△104,512	88.6%
投資活動	△790,027	△713,814	76,213	90.4%
財務活動	△272,900	△278,135	△5,235	101.9%
現金に係る換算差額	△2,827	△1,132	1,694	—
現金増減額	△148,811	△180,651	△31,839	—
現金期末残高	1,903,415	1,722,763	△180,651	90.5%

◆ 営業活動

税金等調整前当期純利益	301,577
減価償却費	651,487
法人税等の支払額	△210,841

◆ 投資活動

無形固定資産の取得による支出	△925,817
定期預金の預入による支出	△101,252
事業譲受による支出	△44,942
定期預金の払戻による収入	202,503
投資有価証券の売却による収入	176,762

◆ 財務活動

配当金の支払額	△110,318
自己株式の取得による支出	△99,981
長期借入金の返済による支出	△60,160

(単位 : 百万円)

	2024年3月期 実績	2025年3月期 予想	増減額	前期比
売上高	3,666	3,850	183	105.0%
営業利益	300	380	79	126.2%
経常利益	290	370	79	127.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	160	180	19	111.8%
1株当たり当期純利益(EPS)	21.48円	24.46円	2.98円	113.9%

(注) 2025年3月期予想は、2024年5月10日の公表値

当期は、与信管理サービスの会員数は増加したものの、前期に増加した退会会員分の売上高を補うまでには至りませんでした。

しかしながら、独自データベースの活用や新たなサービス開発において自由度が高まり、新たな挑戦ができる事業環境となったため、提供データの拡充も進めております。

独自データベースを活用した成長戦略をさらに推進し、目標達成に向けグループ一丸となって取り組んで参ります。

※上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

事業別の見通し

与信管理サービス事業

- ・会員数は増加し、また、クライアントの取引先の反社チェックや企業情報に関するコンサルティングサービスが堅調だったものの、前期に増加した退会会員分の売上高を補うまでには至らず、減収となった。
- ・2024年6月に、与信判断ツールである「e-与信ナビ」に「商業登記PDF」を追加し、提供データを拡充させたうえで25%ダウンの料金改定を実施する予定。
- ・今後も引き続きサービスリニューアルや独自データベース拡充・増強への投資を積極的に行う。

ビジネスポータルサイト事業

- ・大口会員の入会があり、今後の売上に貢献する見込み。
- ・2025年3月期もビジネスツールとの連携予定、会員の利便性と利用促進を推進し、さらなる利用増を目指す。

教育関連事業

- ・前期、一部の代理店向けのサービス提供が終了したことに伴い、売上高は、前年を下回ったものの、定額制のeラーニングサービス「サイバックスUniv.」の利用は堅調に推移。
- ・引き続き、コンテンツの充実化を図ることで会員数の増加と利用を促進する。

BPOサービス事業

- ・外注先管理の強化、採算管理の徹底、AIを活用した業務効率化を図るとともに、医療関連ビジネスのBPO支援を行う。
- ・引き続き独自データベースの増強等グループのコスト削減に貢献する。

その他サービス

- ・中国における信用調査レポートやグループのコスト削減を担うオフショア開発が引き続き順調に推移する見込み。

リスクモンスターグループ の評価 (東証スタンダード:3768)

【RM財務格付】
2024年3月期

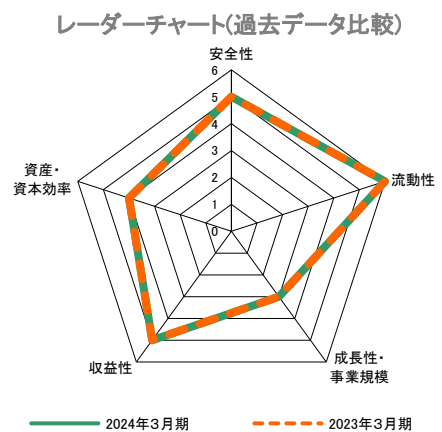
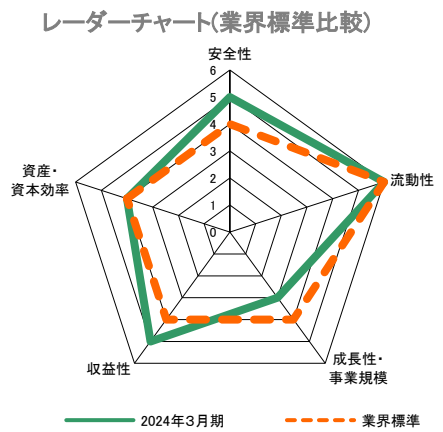
a

【RM財務格付定義】
 a格 財務内容は非常に良好です。
 b格 財務内容は良好です。
 c格 財務内容は概ね良好です。
 d格 財務内容に若干の懸念があります。
 e格 財務内容に懸念があります。
 f格 財務内容に大きな懸念があります。

【想定倒産確率】
 a格 … 0.1% d格 … 2.0%
 b格 … 0.5% e格 … 3.0%
 c格 … 1.0% f格 … 6.0%

【RM財務格付履歴】

2024年3月期	2023年3月期	2022年3月期	2021年3月期
a	a	a	a
2020年3月期	2019年3月期	2018年3月期	2017年3月期
a	a	a	a
2016年3月期	2015年3月期	2014年3月期	2013年3月期
a	a	a	a



安全性	2024年3月期	☆☆☆☆☆
	2023年3月期	☆☆☆☆☆
自己資本比率		☆☆☆☆☆☆
実質自己資本比率		☆☆☆☆☆☆
借入金利率		☆☆
借入返済年数		☆☆☆☆☆☆

流動性	2024年3月期	☆☆☆☆☆☆
	2023年3月期	☆☆☆☆☆☆
流動比率		☆☆☆☆☆☆
当座比率		☆☆☆☆☆☆
現預金回転期間		☆☆☆☆☆☆
手形割引率		

収益性	2024年3月期	☆☆☆☆☆
	2023年3月期	☆☆☆☆☆
売上高経常利益率		☆☆☆☆☆☆
経常収支比率		☆☆☆☆☆☆
ROA(総資産利益率)		☆☆

成長性・事業規模	2024年3月期	☆☆☆
	2023年3月期	☆☆☆
売上高増減率		☆☆☆
売上高規模		☆☆☆☆
経常利益増減率		☆

資産・資本効率	2024年3月期	☆☆☆☆
	2023年3月期	☆☆☆☆
売掛債権回転期間		☆☆☆☆
棚卸資産回転期間		☆☆☆☆
総資産回転率		☆☆

※ 実質自己資本比率とは、資産のうち不良性の恐れのある金額を自己資本から控除した上で算出した自己資本比率です。

※ ☆☆☆☆☆(良い)~☆(悪い)にて表示しています。★が表示されない項目は、評価対象外です。評価対象外となることで、コメントが表示されない場合があります。

総合評価	財政面及び収支面は良好で、高い支払能力を有しているため、不安はありません。
安全性	資本蓄積は十分な水準にあり、借入償還能力も高い状態であるため、安定性の高い資金繰りが見込まれます。
流動性	十分な当座資産を有しており、高い決済能力を有しています。
収益性	利益効率が良好であり、事業による現金創出力を有しているため、高い収益力を有しているといえます。
成長性・事業規模	一定水準の売上規模を有しているものの、収益力が低下しているため、収益基盤にやや不安があります。
資産・資本効率	資産効率がやや低水準にあるものの、資産内容は概ね健全であるため、大きな不安はありません。

当社グループの2024年3月期連結決算におけるRM財務格付は、a~fの6段階中、最高位の「a」となった。その分析内容に関する所見は、以下のとおりである。

【貸借対照表】

グループ連結の財政状態については、親会社株主に帰属する当期純利益160百万円に対して利益剰余金は51百万円の増加に留まった一方で、その他有価証券評価差額金が156百万円増加したことを主因に、純資産額は2023年3月期に比べ177百万円の増加となり、自己資本比率としては、前期86.7%から87.6%に0.9ポイント上昇し、引き続き高い水準を維持している。

借入金に関しては、2023年3月期から約60百万円減少し、1年内返済予定の長期借入金のみとなり、事業収益を償還原資とみた場合の借入返済年数も1年以内に収まっているなど、依然として非常に高い安全性を保っている。

流動性に関しては、流動比率530.1%（前年度比41.6ポイント上昇）および当座比率505.0%（前年度比36.9ポイント上昇）と引き続き高い水準にあることに加え、現預金残高1,723百万円は月商の5.6か月分に相当する点を考慮すれば、十分な資金繰り余力を有しているといえる。総じて、高い支払能力を有しており、特段の懸念もない財政状態と史料される。

【損益計算書】

連結売上高においては、主要ビジネスである法人会員向けビジネスにおいて、与信管理サービス事業（前年度比94.3%）、ビジネスポータルサイト事業（前年度比98.4%）、教育関連事業（前年度比96.6%）が売上を押し下げたことを主因に、全体としても前年度比97.9%と減収推移となったが、本業の事業基盤に加え、周辺事業の成長によって、グループ全体としては依然として安定的な推移を保っているといえる。

利益面については、与信管理サービス事業において、サービスリニューアルに伴うシステム投資やコンテンツ投資に伴う減価償却費の増加等により固定費率が上昇したことを主因に、粗利率が前年度52.7%から47.8%に4.9ポイント低下したほか、販売費及び一般管理費における約46百万円の増加によって、売上高営業利益率8.2%（前年度比6.9ポイント低下）、売上高経常利益率7.9%（6.9ポイント低下）、売上高当期純利益率4.4%（5.2ポイント低下）と、各利益段階での利益率低下が見受けられる。従来水準を考慮すると、売上高とともに今後の改善が課題といえるが、収益効率としては、依然として高い水準にあり、当社グループ売上高の68.2%が法人会員向けビジネスであり、業績の急激な下振れリスクが低いことも考慮すれば、今後も引き続き利益確保に懸念は少ないものと考えられる。

リスクモンスター企業理念



顧客を大切にして共に繁栄しよう
プロフェッショナリズムを繁栄の源泉にしよう

2021年度スタート 長期ビジョン

RismonG-30

キーメッセージ

新しいスタンダードを提供する

社会に有用な付加価値のある信頼されるサービスを提供

信用を判断するだけでなく信用を生み出す

公正で安心できる仕組み作りの役割を担う

「第8次 中期経営計画(2024年度～2025年度)」初年度

積極的に付加価値を高める投資を行う。ROE 7%以上 を目標とする。

① 事業規模

既存事業の安定的な成長に加えて国内外の事業投資を拡大し、安定的な事業規模を目指す。

② 新規事業投資 業務提携

シナジー効果があり、プロフェッショナルなノウハウと顧客基盤を持つ企業を対象とし、長期的なビジネスパートナーとしての関係構築を目的に、アップセル・クロスセルにつながる投資、付加価値を高める投資を、積極的に実行する。

③ 株主還元

配当性向30%を目標とし、継続的かつ安定的な配当を目指す。

与信管理サービス事業



- 独自データベースのDX運営強化
- 提供データ拡充によるサービス機能向上
- 価格戦略の見直し
- 更なるAIの活用
- スマホアプリの強化
- RPA、AIを活用した業務効率化による固定費削減

教育関連事業



- コンテンツ数アップと質の向上
- リスキリングニーズへの対応
- 成長企業向けコンテンツの充実
- クライアントニーズに合わせた提案

ビジネスポータルサイト事業



- 広く一般的に利用されているサービスとの連携を強化
- サポートセンターの機能強化
- Webマーケティングを強化
- スマホアプリの強化(15万ユーザーのアクティブ化)

BPOサービス事業



- VERIFY機能を向上
- 反社チェックサービス強化
- AIを活用したサービスの強化
- 新たな海外センター構築
- グループサービスとの連携強化
- AI-OCR活用

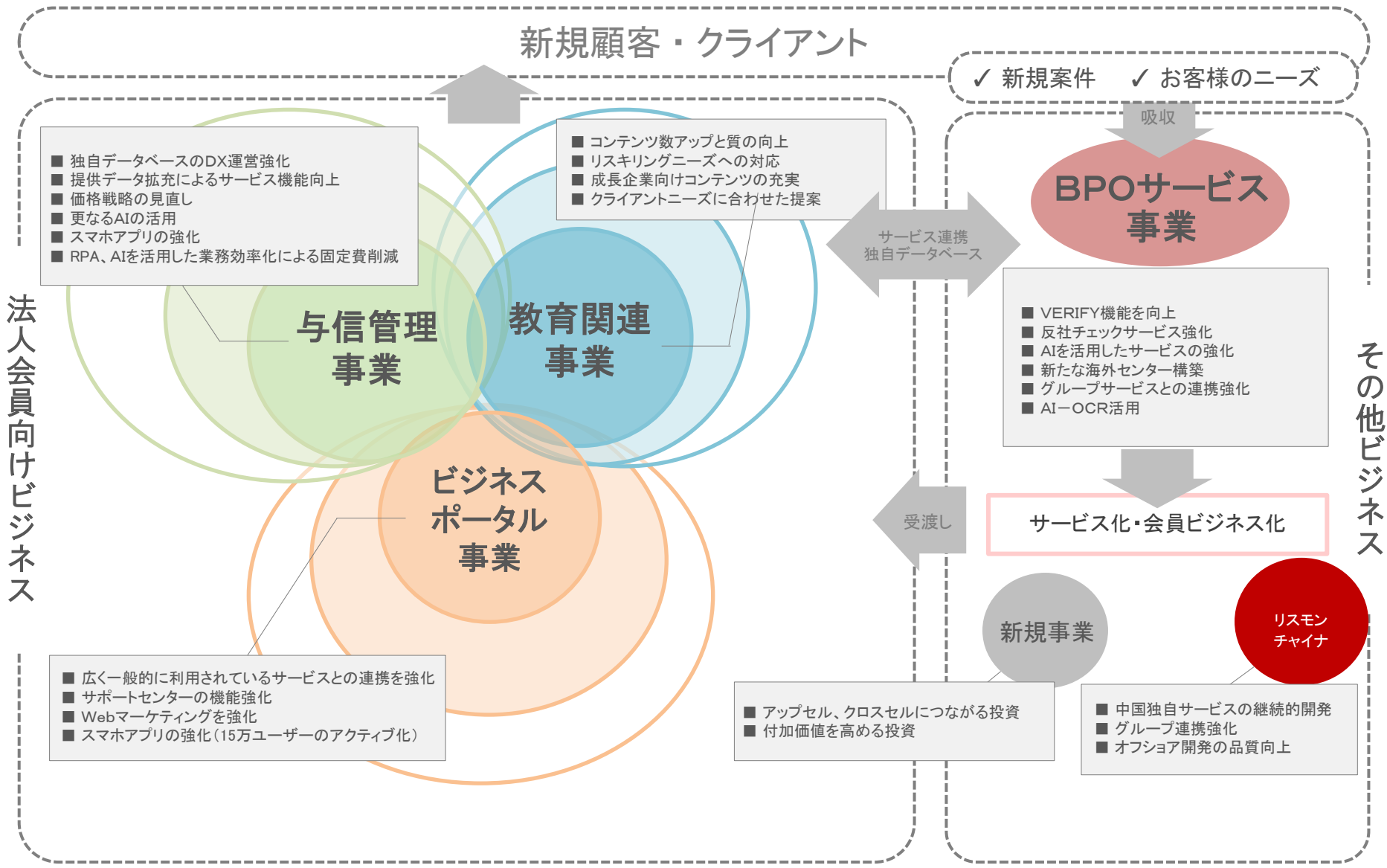
海外事業(中国(上海))



- 中国独自サービスの継続的開発
- グループ連携強化
- オフショア開発の品質向上

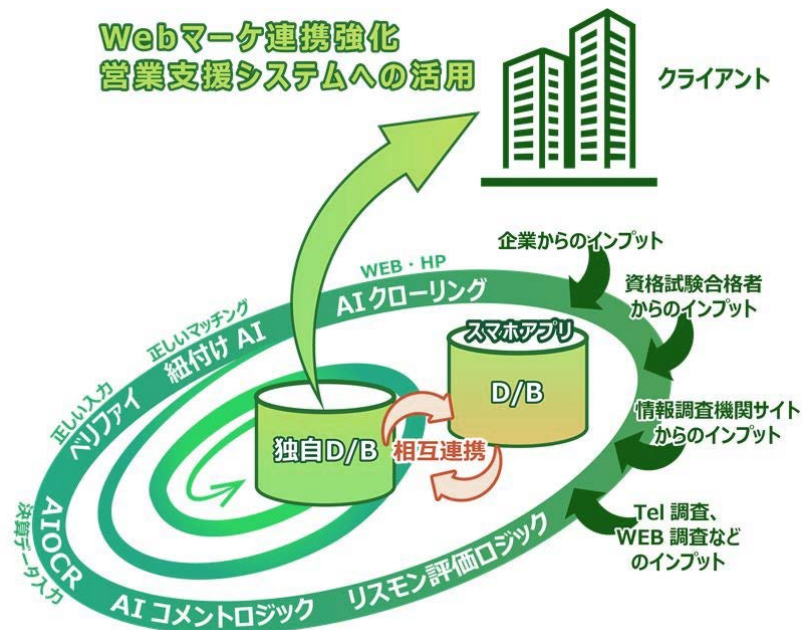
新規事業

- アップセル、クロスセルにつながる投資
- 付加価値を高める投資



当社は、事業を取り巻く厳しい環境を踏まえ、「新しいスタンダードを提供する」をキーワードに、長期ビジョン『RismonG-30』を制定し、この目標を実現するために、「DX(デジタルトランスフォーメーション)への取組」を発信し、以下の取り組みを進めております。

- AI等を活用し、自社保有データの分析推進によるサービス開発と業務効率化
- クライアントへのDX化支援サービスの展開
- デジタルプラットフォーム活用による業務効率化とテレワーク推進



2022年3月に経済産業省が定める「DX認定事業者」の認定を取得

具体的なクライアントへのDX化支援サービスとして、以下のサービスをリリースしました。

- ▶ 国内初★企業情報データベースの「ChatGPTプラグイン」を提供開始(7月) ★当社調べ(2023年7月30日時点)
- ▶ ChatGPT技術を利用した 会員企業向け無料コンテンツ、「教えてAI与信管理士」提供開始(8月)
- ▶ 「e-与信ナビ」に『AI要約コメント(by ChatGPT)』を追加リリース(9月)

自己株式の取得

当社は、機動的な資本政策を実施することで資本効率の向上を図り、株主の皆様への利益還元を実現するため、自己株式の取得を実施いたしました。

1. 2023年12月6日開催の当社取締役会における決議内容

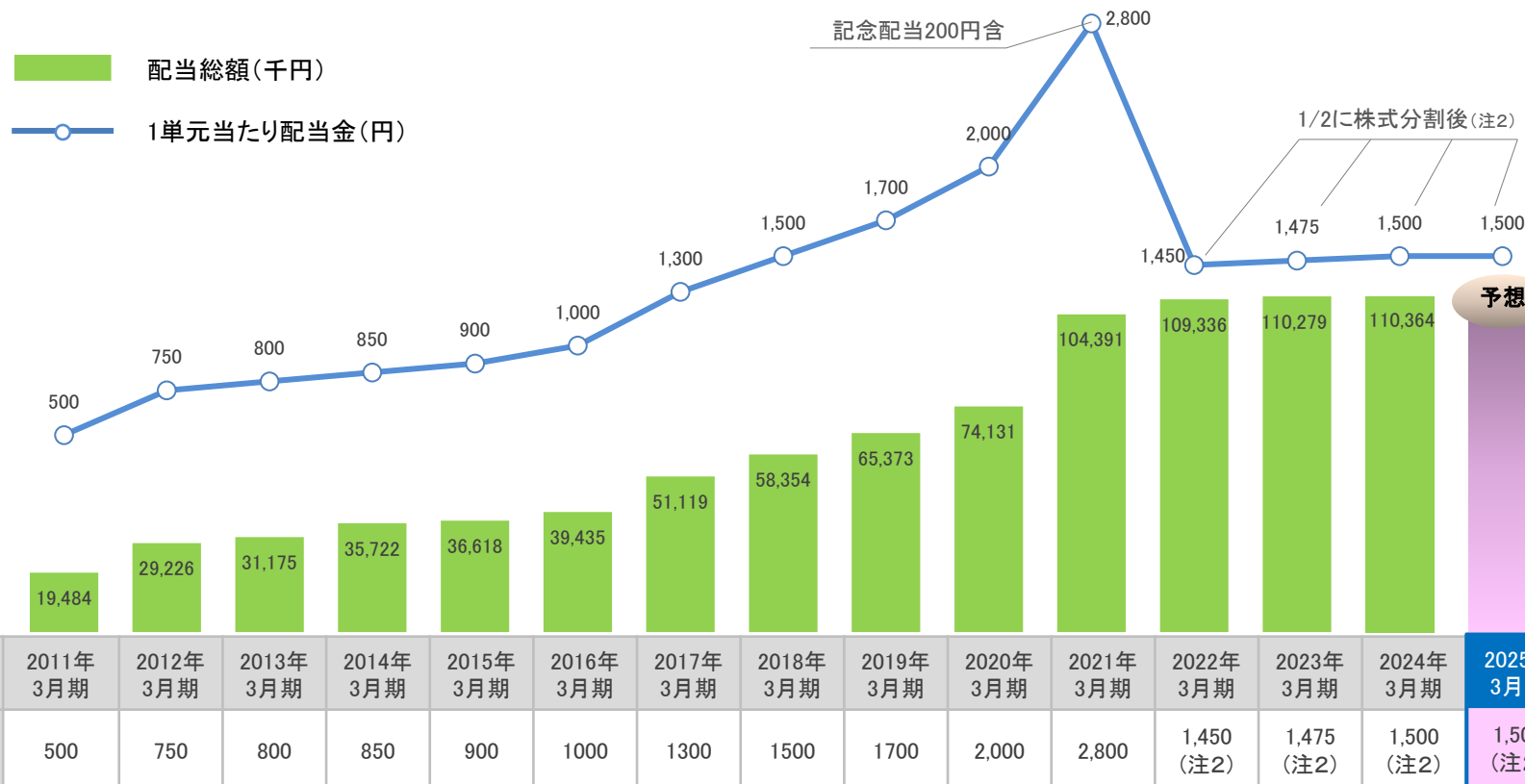
(1) 取得対象株式の種類	当社普通株式
(2) 取得し得る株式の総数	210,000株(上限) (発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合2.78%)
(3) 株式の取得価額の総額	100,000,000円(上限)
(4) 取得期間	2023年12月7日～2024年2月29日

2. 上記取締役会決議に基づき取得した自己株式の累計

(1) 取得した株式の総数	199,300株(上限数に対する進捗率 94.90%)
(2) 取得価額の総額	99,981,600円(上限額に対する進捗率 99.98%)

株主還元

- ◆ 2024年3月期は、当初の予定通り、1単元当たり1,500円(1株当たり15.00円)の13期連続増配する予定です。
- ◆ 当社は従来より株主の皆様への利益還元を重要な経営課題として位置付けており、今後も継続的かつ安定的な配当の実施を目指しております。2025年3月期の年間配当は、1単元当たり1,500円(1株当たり15.00円)の予想です。



(注1) 1単元 = 100株

(注2) 2021年4月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割

株主優待制度

当社は、毎年9月30日現在の当社株主名簿に記載または記録された株主様のうち、当社株式を6ヶ月以上保有されており、かつ、300株(3単元)以上の当社株式を保有する株主様を対象とした株主優待制度を設けております。

また、当社株式を1年以上保有されており、かつ、600株(6単元)以上の当社株式を保有する株主様におかれましては、お好きな商品または寄付を1点お選びいただく株主優待となっております。優待商品につきましては、日本各地の名産品や、防災用品、当社オリジナル商品等がございます。



所有株式数	保有期間			
	6ヶ月以上1年未満	1年以上3年未満	3年以上5年未満	5年以上
300株以上	当社指定商品	当社指定商品		
600株以上		1,500円相当	2,000円相当	2,000円相当
1,000株以上		2,000円相当	3,000円相当	4,000円相当
2,000株以上		3,000円相当	4,000円相当	5,000円相当

第24回 定時株主総会

2024年6月25日に第24回定時株主総会を開催いたします。
本年も、より多くの株主の皆様に参加いただくため、株主総会のWEB配信を行います。

Webで議決権行使の行使、ライブ配信をご視聴いただけます

事前質問を受付いたします

ライブ配信の視聴は株主様限定となります。また、本総会のライブ配信は視聴のみとなっており、出席とは取り扱われませんので、事前に議決権行使及び事前質問の登録をお願いいたします。

- ※ ご来場を希望される場合には事前参加申込が必要となります。
- ※ ご来場の株主様へのお土産のご用意はございません。
- ※ 詳細は株主総会招集ご通知をご覧ください。



パソコンまたはスマートフォン



- ・株主総会のライブ配信
- ・議決権の行使

株主様より本株主総会の目的事項に関するご質問を事前に受付いたします。

株主様のご関心が高いと思われる事項につきましては、株主総会当日にご回答させていただきます。なお、ご回答をお約束するものではありません。

リスモンちゃんねる 配信

「リスモンちゃんねるIR」では当社のIR動画をインターネットで公開しております。

また、YouTube「リスモンちゃんねる」では、一般の方には馴染みの薄い「与信管理」や「リスクモンスターの活動」について、広く普及することを目的に、企業や仕事にまつわるテーマの動画を配信しております。

当社独自の様々な切り口でのアンケート調査を解説する「リスモン調べ」や誰もが普段感じているお金に関する疑問を解決する「学校や会社では教えてくれないお金の話」、仕事での取引トラブルをドラマ仕立てで解説する「THE解決！取引トラブル」などエンターテインメント性の高い動画が特長です。

IR動画



2024年3月期上期決算と今後の中期見通しについて、代表取締役が説明いたします。



リスモンちゃんねる 2023冬



PR動画 (リスモン調べ等)



第71回リスモン調べ「若手社員の仕事・会社に対する満足度」



THE 解決！取引トラブル 第17回「反社チェックを怠らないで！」

お問い合わせ先

IRに関するお問い合わせ

【Mail】

ir@riskmonster.co.jp

【お問い合わせフォーム】

<https://www.riskmonster.co.jp/form/inquire/ir/index>

※ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

※ 実際の業績は、経済環境の変化や提供するサービスの動向等の様々な要因により将来の見通し等と異なる場合があります。



【会社名】

リスクモンスター株式会社

<https://www.riskmonster.co.jp>

【所在地】

東京都中央区日本橋2-16-5

RMGビル

【連結子会社】

リスモン・ビジネス・ポータル株式会社

<https://www.j-motto.co.jp>

リスモン・マッスル・データ株式会社

日本アウトソース株式会社

<https://www.outsource.co.jp>

株式会社シップス

<https://www.ships-it.co.jp>

利墨(上海)商務信息咨询有限公司

<https://www.rismon.com.cn>

TOPICS



■ 限度額内の最大100%を保証、保証額最大1,000万円引き上げへ

2023年5月8日、リスクモンスター株式会社(以下、「リスモン」という。)は、売掛債権保証サービス「Secured Monster」において、Gardia株式会社と提携し、債権保証の範囲を拡大いたしました。

これまでの一般的な債権保証サービスでは、審査結果によっては取引先への保証は、引き受けを拒否されるか、複数保証先をまとめる必要がありました。今回、新たに提供開始する「Secured Monster Type Gardia」は、RM格付(A格～G格)が付与された企業について、格付ごとに決められた保証限度額内の最大100%を保証いたします。本サービスでは、RM格付に応じて1社から保証することが可能になります。

信用リスクに不安を感じられる会社との取引での貸し倒れや焦付きリスクを軽減し、スピーディーな取引を支援することで、与信管理と攻めの取引をサポートしてまいります。

■ Secured Monster Type Gardiaの概要

PROBLEMS 債権保証や保全策に関わる困りごと

低評価の会社で保証がかけられない



保険会社・保証会社から引き受け拒否や複数の保証先をまとめるよう言われてしまった

保険会社・保証会社とのやり取りが大変



緊急の案件ですぐに保証を開始したいが、手続きが多く時間がかかる

1社単位、短期間だけ保証をかけたい



スポット取引や繁忙期だけ保証をかけておきたいが、1年契約で無駄なコストが発生してしまっている

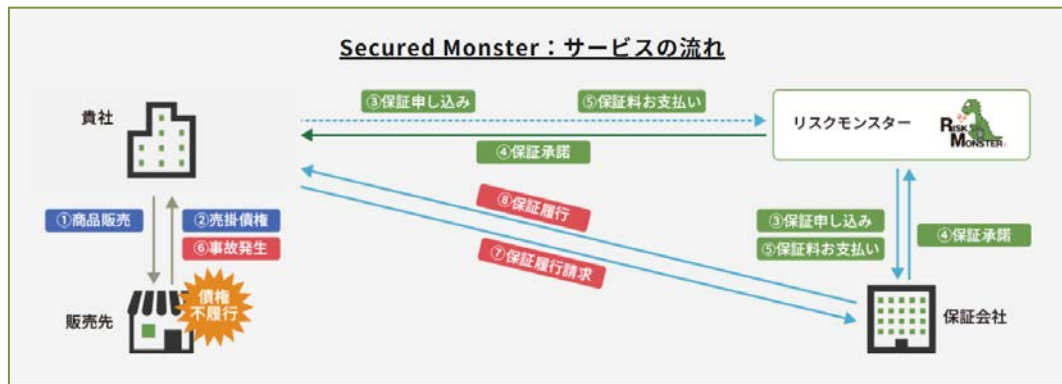
SOLUTIONS

その困りごと、リスクモンスターが解決します！



リスクモンスターが提供する債権保証サービスの「Secured Monster」は、信用リスクに不安を感じられる取引先も、1社単位・短期間から、RM格付ごとの保証限度額内で最大100%を保証します。

「Secured Monster」は1社1ヶ月から保証可能な売掛債権保証サービスで、RM格付ごとに保証限度額を設定し、限度額範囲内のご希望額を1社から保証します。本サービスでは、保証限度額の範囲内であれば、原則1社からご希望額の引受が可能となり、従来の保証額に比べ、最大1,000万円引き上げになります。



※複数の会員様から同一企業への申込があった場合は、保証限度額範囲内であってもご希望額の引受ができない場合があります。

※既に支払い遅延が発生している先は対象外となります。

■ 「決算書分析システム」～95%の高い認識精度、財務分析業務の効率化を実現～

リスモンの「決算書分析システム」が「IT導入補助金2023」の対象ツールとして認定されました。

リスモンの「決算書分析システム」は、財務分析に特化した与信判断ツールです。独自技術の一つであるAI-OCRを活用し、煩雑な決算書分析業務の効率化を実現します。一般的なAI-OCRでは困難な、統一された勘定科目フォーマットへの出力・統合や、財務分析結果の反映が瞬時に可能なため、財務分析の知識がない営業担当者でも使いやすい設計としています。

取引先より決算書を入手したが分析手法がわからない、決算書分析にかかる時間を短縮したい、取引先の信用力判定に困っている、などの課題解決にお役立ていただけます。

■ 「J-MOTTOサービス」～グループウェアや勤怠管理システム導入に最大1/2の補助金～

リスモン・ビジネス・ポータル株式会社において提供するJ-MOTTOサービスのラインナップが、経済産業省が推進する「IT導入補助金2023」の対象ツールとして認定されました。

本制度を利用することで、導入費用に対して最大1/2以内の補助金交付が受けられることが可能です。2023年度は補助金の下限が30万円から5万円に引き下げられました。これにより、昨年度まで対象外だった”少人数”で利用する場合も、補助が受けられるようになります。



■ IT導入補助金2023について

「IT導入補助金」とは、中小企業・小規模事業者がITツールを導入する際に費用の一部が補助される、経済産業省監督の補助金制度です。

※給付金の交付決定には、事務局による審査があります。

■ 企業情報データベースのChatGPTプラグイン「RiskmonsterCorpDB」提供開始

2023年7月31日、リスモンは、OpenAI社の対話型AI「ChatGPT」向けに、企業情報データベースの「ChatGPTプラグイン」(以下、「本プラグイン」)を日本国内で初めて★提供開始しました。 ★当社調べ(2023年7月30日時点)

本プラグイン提供により、リスモンが収集・メンテナンスする500万社超の企業情報をChatGPT上で利用できるようになります。企業情報は会社名、法人番号、業種、会社ホームページのURL等が含まれ、常に最新の状態にアップデートされます。

これまでChatGPT単体では実現が難しかった最新の企業情報が取得できるため、例えばビジネスにおける見込み顧客や取引先の調査や、就職・転職活動における利・活用が見込まれます。また、ChatGPTのプラットフォーム上で、対話形式で対象企業の調査をするだけでなく、他の図表作成のプラグインなどと組み合わせることで、企業情報をもとにした提案書の作成が可能になります。

■ 会員向けに「教えてAI与信管理士」「AI要約コメント(bychatGPT) 提供開始

2023年8月22日より、リスモンは、ChatGPTに当社出版書籍「与信管理論(第3版)」を学習させた、与信管理業務の疑問にお答えするAIアドバイザー「教えてAI与信管理士」の提供を開始しました。会員企業様は、会員用サービスサイト上にて無料でご利用いただけます。

<質問例> 「企業審査のポイントを教えてください」、「赤簿債権回収期間とは?」



■ご提供イメージ

e-与信ナビの画面上にある「AI要約コメント (by ChatGPT)」をクリックすると、対象企業の情報を要約したコメントが表示されます。



また、2023年9月17日より、「e-与信ナビ」に、対象企業の情報を要約した「AI要約コメント (by ChatGPT)」を追加リリースいたしました。これにより、e-与信ナビを項目ごとに読み込む手間を省いて、自然な文章で直感的に把握していただくことができます。

■ 与信チェックや新規取引申請業務のDX化を支援

2023年9月13日より、リスモンは、株式会社サンブリッジ(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:梶川拓也、以下「サンブリッジ」)がSalesforce拡張機能として提供する名刺管理アプリ『SmartVisca』において、企業情報・RM格付・反社チェック情報のデータ提供を開始いたします。

リスモンが提供する500万社超の独自企業データベースと『SmartVisca』の連携により、Salesforce内の取引先に対して、企業情報、倒産可能性を判別するRM格付、反社チェック情報などのデータが取得できます。Salesforceのプラットフォームにおいて、取引先の与信調査や反社チェック業務の効率化、企業取引リスクの適切な管理を実現いたします。

■ ご提供イメージ

名刺交換後、SmartViscaで顧客データを取り込み、SalesforceとリスモンAPI情報を連携することができます。



リスモン与信管理APIサービス

リスクモンスターが保有する約500万社の独自企業データベースをもとに、システム連携の実現や、クラウド上でのデータ共有・ワークフロー化など与信管理体制構築及び与信管理業務のDX化を支援するサービスです。

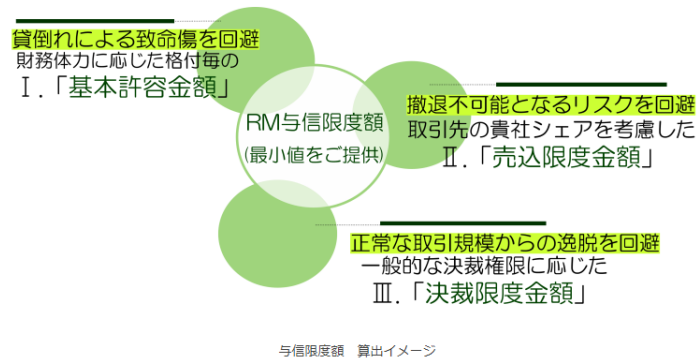
◆取得可能な項目

- ・RM格付 : 倒産実績に裏付けられたA~Fの6段階の最新格付
- ・企業情報: 「法人番号」、「商号」、「郵便番号」、「所在地」、「電話番号」、「代表者名」などの企業基礎情報

■ リスモンチャイナにて、「与信限度額設定コンサルティングサービス」提供開始

2023年10月9日より、リスモングループの海外展開(中国)を事業とする利墨(上海)商務信息咨询有限公司(リスクモンスターチャイナ)は、「与信限度額設定コンサルティングサービス」の提供を開始しました。

中国では商慣習の違いにより、日本よりも支払い遅延や貸倒れのリスクが高いと言われています。中国企業との取引判断にお悩みの企業様が多い中、リスモンチャイナでは、リスクモンスターの与信管理支援ノウハウを活かして、中国現地法人の与信管理体制構築をサポートしています。

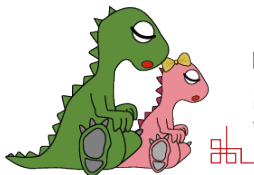


■ 「RM中国企業情報ナビ」にChatGPTの技術を利用した“情報サマリー”コメントを追加

2023年9月1日より、リスモンは、中国企業信用調査サービス「RM中国企業情報ナビ」において、新規項目「情報サマリー」の追加提供を開始しました。これは、ChatGPTに調査対象企業の信用調査レポートを読み込ませ、その内容を要約したレポートサマリーコメントです。

「RM中国企業情報ナビ」は、リスモンチャイナが中国国内の企業調査を専門的に行う信用調査会社との提携によってご提供する信用調査書です。RM格付・RM与信限度額を付与し国内企業と同様の評価ができる点や、日本語でのレポート作成が基本となっている点などから、高品質・安価にレポート取得が可能とリスモン会員からご好評をいただいています。

中国企業の信用調査レポートとして、ますます充実した「RM中国企業情報ナビ」をご活用ください。



Rismon China

利墨(上海) 商務信息咨询有限公司



7,000超の会員企業へ、自社PRが可能に

2023年11月19日より、リスモンは、会員企業向けに提供する与信判断ツール「e-与信ナビ」に事業PRコメントの掲載を開始しました。

※「e-与信ナビ」とは、

取引先の企業概要、信用評価指標、適正な取引金額などを、即時に取得することができる与信判断ツールです。
国内最大級500万社超の豊富なデータが特長です。



イメージ画像



自社事業PRコメントは、リスモン「企業情報Web登録システム」へご入力いただくことで反映ができます。

事業PRコメント掲載のお申し込み：

<https://www.riskmonster.co.jp/form/inquire/contact/index>

※「事業PRコメントに関する問い合わせ」とご記入ください。

※「企業情報Web登録システム」とは、

リスモンでは2019年4月から、業界に先駆けてWebシステム上で企業情報のデータ更新を受け付ける新しい仕組みに取り組んでいます。2022年1月には前身システムのノウハウを反映した「企業情報Web登録システム」をリリースし、他社に先駆けてWebシステム上で企業調査を推進しています。

ご回答いただくことにより、7,000超の会員企業へ自社事業のPRが可能となることや、情報公開性による評価向上または円滑な取引開始が可能となります。

■ 国家規格「国家情報安全等級保護二級」を取得



「国家情報安全等級保護二級」検査完了証明

リスモングループの海外展開(中国)を事業とする利墨(上海)商務信息咨询有限公司(リスクモンスターチャイナ)は、2023年7月に中国の国家規格「国家情報安全等級保護二級」を取得しました。

これは、中国サイバーセキュリティ法に規定される等級保護制度の要求項目を十分に満たしていると認証された運営者のみが取得できる規格です。

サイバーセキュリティ法は、ネット環境における中国の主権と国家の安全維持を目的としたもので、中国サイバーセキュリティの最高位の法とも呼ばれています。すべてのネットワーク運営者は、等級保護制度の要求に従って、サイバー環境の安全義務を果たさなければならないと規定されていますが、2023年12月時点で同規格を取得している運営者は少なく、上場企業などの限られた企業のみとなっております。

・認証番号

：3101059917431010599174—2300123001—2323—00890089—01

・認証項目

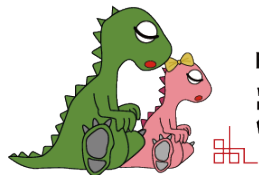
：ウェブサイト本体の脆弱性スキャン、ウェブサイト浸透テスト、Web攻撃保護措置、悪意コード保護措置、ウェブページの改ざん防止保護措置、DDos 攻撃保護措置、ウェブサイトのトラフィック通信暗号化、IPS 侵入防御など

・評価機関

：公安部第三研究所(中国国家機関である公安直属の研究所)

Rismon China

利墨(上海) 商務信息咨询有限公司



■ 格付ロジック改定～現下の経済変動における中小企業への影響を考慮～

2023年12月17日、リスモンは、倒産判別力が93.7%に改善が見込まれる「RM格付ロジック」の改定を実施いたしました。

RM格付はリスモン独自の与信管理指標で、企業を6段階のA格～F格に分類した倒産判別に特化した格付です。その倒産判別力(※)は2023年4月以降93%超を維持しており、11月までの実績で93.6%の精度を誇っています。

国内の経済活動正常化が進んでいる一方で、ウクライナ、イスラエル情勢や中国住宅市場の低迷、エネルギー価格高騰や円安進展などの影響により経済全体の動向には引き続き注意が必要な状況が続いています。

厳しい事業環境下において、企業は、商品サービスの値上げや人手不足解消に向けたDX推進などの収益構造改善に向けた活動が必要です。時代の変化とともに、企業存続に必要な要素も変化することを踏まえて、企業評価基準の見直しを実施し、AIやアナリストによる倒産予兆分析結果をRM格付ロジックへ反映しています。 ※倒産判別力とは、倒産件数に占めるRM低格付(E格・F格)の割合を示す。

■ 格付ロジック改定のポイント

1) 倒産確率の適時化

経済環境や景気動向により、常に変化する倒産トレンドに対応するために、定期的に倒産実績の集計を行い、格付と倒産確率の乖離が生じないように調整を行っています。

2) 定量分析の強化

収益性分析を強化、特に、中小零細企業の収益構造に注目し、従来ロジックでは、過小評価されていた企業に対して評価の適正化を図っています。

3) 商流分析の強化

企業情報を拡充したことに伴い定性分析を強化しております。分析結果を踏まえ、倒産判別力の向上が見込まれることから、評価ロジックを改定し、格付精度の向上を図ります。

■ 与信管理に新しいスタンダードを提供

日本企業が厳しい経済情勢下で“攻めの取引”を続けるために、リスモンは格付精度の向上を続け、お客様へ与信管理の新しいスタンダードを提供してまいります。



リスモンは経済産業省が定める「DX認定事業者」です

<https://www.riskmonster.co.jp/corporate/dx/>

取引企業評価の効率化を可能にする与信管理支援レポート、AI技術を利用したフォーマットアップデートを実施

リスモンは、2024年1月22日お申し込み分より、与信管理支援レポート「リスモンAI与信管理PDF」フォーマットをアップデートしてのご提供を開始いたしました。

「リスモンAI与信管理PDF」とは、企業が取引先と安全な取引を行うために把握しておくべき取引先の情報を網羅的にまとめ、その企業評価を分析した与信管理支援レポートです。

「リスモンAI与信管理PDF」に掲載される企業情報は、AIリサーチ(AIを駆使したWebクロウリング等)と、数多の企業情報を取り扱うリスモンのDXノウハウを用いて収集しています。また、収集した企業情報に対して、リスモン独自の「精度の高い審査ノウハウ」と「AIによる分析技術」を用いて、信用評価指標(RM格付)や総合評価コメント、分析資料を生成し、提供しています。

この度、代表者、仕入先、販売先の項目に対し、企業分析ノウハウを学習したAIによる評価コメントを追加いたしました。これにより、経営体制や周辺企業の情報から読み取れる与信管理上の評価をAIが判断し、客観的な分析コメントが得られるため、社内申請時の要約文章作成時間の削減や、企業評価の効率化につながります。



■AI評価コメントご提供イメージ

【仕入先】 ※最大5社まで掲載

RMコード	商号	業種	都道府県	構成比	格付
1999999999999	RM情報研究所	その他の事業サービス業	東京都	-	A
2999999999999	与信データハウス	その他の事業サービス業	東京都	-	B
3999999999999	信用リサーチ	情報サービス業	東京都	-	C
-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-

【仕入先 AIコメント】 ※ AIによって生成されたものであり、実際の状況と異なる可能性がございます。

リスモン産業株式会社の仕入先として、「RM情報研究所」、「与信データハウス」、「信用リサーチ」の3社が挙げられます。これらの企業は、いずれも東京都に所在し、業種は「その他の事業サービス業」と「情報サービス業」に分類されます。これらの企業は、中規模から大規模の企業規模を有しており、リスモン産業との取引において安定した供給基盤を提供することが期待されます。特に、「RM情報研究所」と「信用リサーチ」は、主要株主に「日本与信研究所」と「リスもん」を有し、これらはリスモン産業との関連企業である可能性が高いです。RM格付においては、「RM情報研究所」がA格、「与信データハウス」がB格、「信用リサーチ」がC格であり、いずれも倒産のリスクは比較的低いと評価されています。

取引判断に必要な商業登記簿情報をワンストップでご提供

リスモンは、2024年2月18日より、「e-与信ナビ」において、「商業登記簿取得」機能の追加提供を開始いたしました。

「e-与信ナビ」では、「企業データ詳細」や「コンプライアンスリスクを視覚化して提供する「反社チェックヒートマップ」など、調査対象企業を一度検索するだけで、取引判断に必要な情報をご利用用途に応じてワンストップで取得できます。

また、取得した情報は企業データとしてひとまとめに保存することができますので、調査システムのシンプル化や事務作業の効率化、取引先情報の一元管理が可能です。

サービスイメージ



... etc

提供イメージ

●提供イメージ



料金 商業登記簿1件につき、330円(税込)

民事法務協会が提供する「登記情報提供サービス」で取得する場合にかかる332円(税込)と比較した場合、2円安く取得できます。

■ 値上げ時代の今こそプライスダウンを断行！ 業界トップクラスの価格水準と提供項目数で企業支援を強化

リスモンは、2024年6月1日より、与信判断ツール「e-与信ナビ」を25%DOWNの料金に改定してサービスを提供いたします。現在「e-与信ナビ」はデータ取得料金1,600円(税別)で提供していますが、6月1日より「商業登記PDF」を追加し、提供データを拡充させたうえで、料金を25%DOWNの1,200円に改定いたします。

リスモンは創業以来、会員企業の与信管理業務をより身近で簡単なものにし、円滑な取引判断のサポートを続けてきました。企業各社が軒並み料金を改定しインフレ傾向の強まる中、会員企業の取引判断をこれまで以上に支援強化していくという決意から、この度、提供データの拡充とともに、料金改定を実施することといたしました。

■参考: 与信管理サービス3社 比較表(当社調べ)

	リスモン	A社	B社
企業データ料金(税別)	1,200円	1,200円~1,600円	1,200円
データ提供項目数	61項目(※3)	約30項目	約40項目
指標の成績公開	公開	非公開	非公開
上場区分	東証スタンダード	未上場	未上場

今回の改定により、国内の与信管理サービス業界トップクラスの価格水準と提供項目数を実現いたします。これからもリスモンは、より多くの企業に“新しい与信管理”を提供すべく、業界でのチャレンジを続けてまいります。